



学校だより

令和6年2月29日
第11号 江戸川区立瑞江小学校

かかわっていただいたすべての方々に感謝を

校長 中村 敬子

2月には咲き誇っていた梅の花が終わりを告げ、桜のつぼみが大きく膨らみ今か今かと咲き出すのを待ち構えているようです。今年度も最後の月、3月となりました。子どもたちの学校生活は「まとめ」そして「感謝」の月と言えます。

先日は1年生から5年生の子どもたちが6年生に感謝の気持ちを表す「6年生を送る会」が行われました。体育館に全校の子どもたちが集まって行われるのは、4年ぶりです。「6年生への感謝の気持ち」をある学年は「呼びかけ」で、またある学年は「一緒にゲームをして遊ぶ」ことで表していました。6年生の子どもたちは、後輩たちの一生懸命な思いを受け止め、時には笑い、時には真剣に楽しむことができました。また、6年生への歌のプレゼント「きみとぼくのラララ」では、1年生から5年生の子どもたちが歌詞の意味を考えて手話をつけ、約300人の大合唱となり、いろいろな思いがぐっとこみあげてくる場面もありました。

1年生から6年生の子どもたちに6年生との思い出を尋ねると「委員会やクラブ」といった学校での活動を答えた子たちよりも「登校時」や「休み時間」「朝のしたく」等の日常の中で6年生も気付かないようなさりげないことに対して感謝の気持ちをもつと答えた子たちが多くいました。

さて、本校の教育に関しても同じことが言えます。「運動会」や「音楽会」といった大きな学校行事、「瑞小まつり」のようなPTA行事だけでなく、日常の中で大きな大きなお力をいただいていることを思います。登校時・下校時の見守りは保護者の方々のみでなく地域のボランティアの方々からのお支えがあります。「おはよう」と声をかけていただいている地域の方もいらっしゃいます。校門を入ってすぐの花壇がいつもいつもきれいな花が咲き誇っているのは、地域の花ボランティアの方々のおかげです。読み聞かせのボランティアや図書室の整備にいらしていただいている保護者ボランティアや地域のボランティアの方々もいらっしゃいます。楽しい行事をいろいろ企画し学校を支えていただいたPTA役員や行事のボランティアの方々もいらっしゃいます。

子どもたちとともに、すべての方々のお力に感謝いたします。また、子どもたちへも将来このような活動に参加しようという気持ちをもたせていきたいと考えています。

瑞江小学校のために、子どもたちのために、とかかわっていただいたすべての方たちに感謝いたします。

1年間、ありがとうございました。